

JUNGIDO

1898 =  = 1999
遵義の桜、咲いて100年

滋賀県立膳所高等学校同窓会報 遵義堂

発行人/宇野 勝
発行所/滋賀県立膳所高等学校同窓会
大津市膳所2-11-1
TEL077-524-4295・FAX077-524-1732
発行日/平成11年4月15日
編集人/広報部会・谷口啓司
印刷/有限会社服部印刷所

CONTENTS

| | |
|-----------------|---|
| 百周年記念式典を終えて | 1 |
| 平成11年度総会のお知らせ | 1 |
| 百周年記念事業報告 | 2 |
| 卒業年別募金納入状況 | 2 |
| 百周年協奏曲を奏で終えて(1) | 4 |
| 同窓生投稿欄 | 5 |
| 石鹿文庫 | 5 |
| 会費納入のお願い | 5 |
| 平成11年度同窓会事業計画案 | 6 |
| 周年記念同窓会報告 | 6 |
| 周年記念同窓会予告 | 7 |
| 同窓会入会にあたって | 8 |
| 膳所高NEWS | 8 |

VOL.15

百周年記念式典を終えて

膳所高校同窓会長 宇野 勝



膳所高校同窓会の皆様お変わりなく、ご健勝にてお過ごしのことと拝察いたします。皆様既にご承知の通り、本校は昨平成10年4月を以って創立百周年の歴史を閉じました。その間31、021名の同窓生が巣立っており、その間ご厄介になりました教職員の方々は、旧職員937名、現職員96名であり、明治大正、昭和、平成の四世代に亘り我等同窓生の教育訓育に尽力していただきました。お陰で我々の先輩始め同窓生が夫々の持場、立場に於いて勉強を重ね、国家社会の発展充実に貢献して来ることができました。

同窓会といたしましては、平成4年4月初より、平成10年4月には母校創立百周年を迎えることを念頭に置き、より活発な同窓会活動を展開すべく、同窓会組織の中に総務、財務、広報、事業、組織の5部会をおき、部長以下部会役員各位が夫々組織活動を展開、その最初の事業の一つとして、広報部会では「同窓会報復刊準備号」を発刊、また、組織部会では11月に「95周年同窓会名簿」を発刊、会員相互の連帯意識の向上に寄与すべく努力していただきました。

平成7年2月には、同窓会、学校、PTAが三者一体となり協議の結果、百周年記念事業実行委員会設立総会を開催、全員合意の下に記念行事式典部会・百年史記録部会・組織名簿部会・募金推進部会・環境施設整備部会・広報部会の6部会で構成する新組織を作り、夫々事業の企画立案実施の体制に入ることになりました。

この間の事業経過は、「JUNGIDO」VOL.6にご報告いたしておりますが、組織名簿部会では、平成10年5月現在の会員名簿を発行、百年史

記録部会では、「目で見る膳所高100年」(写真集)及び「百年史」の刊行、広報部会では、百周年のキャッチフレーズを募集して「遵義の桜、咲いて100年」を決定、モニユメント、各種大会での応援の横断幕を作成等、百周年事業の盛り上げの企画実施、記念行事式典部会では、百周年記念に「ベートーベン第九」の合唱隊を編成、全校生徒、OB、PTAの参加を得て、順調に準備を進め、11月7日の式典当日には京都交響楽団による「第九」の演奏が行われ、351名の大合唱隊が熱唱し、特に「歓喜の歌」部分は全校生徒が大合唱し創立百周年を歌い上げました。

また、午後からは同窓会祝賀式典を多数のご来賓、同窓会員、PTA会員列席の中で極めて盛大に実施する事が出来ました。ひとえに会員、役員各位の熱意の結果のお陰であると感謝と謝意を表するものであります。残る事業は、寄付金募集と新運動場に設置予定のトレーニングハウスの建設及びトレーニング機器の整備であります。寄付金も会員のご理解により95%集まりましたが、尚不十分でもありますので何卒よろしくご理解を賜りますようお願い申し上げます。

運動場につきましては、現在の膳所高の運動場が狭隘である事について、特に県当局の格別のご配慮を賜り、新たに26,000㎡の新運動場を確保していただきました。今、この運動場の整備中であります。整備が終わる次第、我々の手で前項のトレーニングハウスを建設しようとするものであります。人間は歴史の現実の存在であります。我々の膳所高100年の歴史を基に、また、新しい100年の歴史が既に始まっている訳であります。愈々誇りある母校の発展を祈り同窓会員皆様方のご発展、ご清祥を祈ってご挨拶いたします。

会費納入ありがとうございました。

同窓会会費納入状況

皆様から納入いただきました、平成10年度の同窓会会費は、平成11年2月28日現在、
総額 9,388,500円
となっています。前払いしていただいている方については、当年度分を振替充当して、上記金額に集計させていただいております。会員の皆様のご理解に感謝しますと共に、ますますのご協力をお願いいたします。今回、平成11年度会費として振替用紙を同封いたしておりますので、ご納入のほどよろしくお願い申し上げます。会費納入の詳細については5ページをご覧ください。(財務部会)

本年の総会(は)5月9日(日)
平成11年度
総会のお知らせ

膳所高校同窓会平成11年度定時総会を左記の要項により開催いたします。お陰様で昨年は創立百周年の記念式典等を無事に終えることができました。ただ、第2グラウンド及びトレーニングハウスの建設という百周年事業の集大成ともいえるべき重大事業が残っております。引き続き同窓生各位の絶大なご支援ご協力をお願い申し上げます。総会の開催日を元の2日曜日に戻しました。くれぐれもお間違えのないように。一人でも多くの同窓生のご参加をお待ち申し上げます。

平成11年度定時総会

- 日時 平成11年5月9日(日) 午前10時開会(午前9時30分受付開始)
- 場所 琵琶湖ホテル(JR大津駅より湖岸へ徒歩8分、京阪浜大津駅下車すぐ)(琵琶湖ホテルは平成10年に浜大津へ移転しております) TEL 077-524-7111
- 議事 平成10年度会務報告
平成10年度会計報告並びに会計監査報告
平成11年度事業計画並びに予算案
役員改選
その他
- 講演 「世界中の日本人は関西に期待する」
講師 七尾 清彦氏(膳所高10回生)
プロフィール
東大法学部、国家公務員、外務公務員各上級試験合格、外務省入省後、上級在外研修生としてケンブリッジ大留学、昭和43年ナイジェリア日本大使館2等書記官をかわりに国際連合局経済課主席事務官、在米日本大使館公使、等を歴任、在サンフランシスコ日本国総領事を最後に平成10年1月、外務省を退官
- 懇親会 懇親会にご出席の方は、会費として10,000円を当日頂戴いたします。

ご出席の方は同封の葉書でご返事ください。欠席でかつ住所変更のない方はご返信いただかなくても結構です。

百周年記念事業報告

記念行事式典部会

部会長 村西 康彦

平成10年11月7日

記念式典(学校式典) 12時～14時20分

於：滋賀県立芸術劇場「びわ湖ホール」
式次第 司会：堀井 哲朗(昭44年膳所高第17回卒)

- ・開式の辞 澤 幸雄
- ・国歌斉唱
- ・学校長式辞 浅田 幸作
- ・実行委員長挨拶 同窓会長 宇野 勝
- ・来賓祝辞 滋賀県議会議長 山崎 得三朗
- 滋賀県教育委員会委員長 南 光雄
- 滋賀県教育委員会教育長 吉川 勉
- ・来賓紹介・祝電披露 澤 幸雄
- ・校歌斉唱
- ・閉式の辞 澤 幸雄

記念公演

- ・ベートーベン 交響曲第9番「歓喜の歌」
- 管弦楽：京都市交響楽団
- 指揮：山下 一史
- ソプラノ：雑賀 美可 アルト：...児玉 祐子
- テノール：小林 正夫 バリトン：片桐 直樹
- 合唱：膳所高校 音楽選択在校生
- 膳所高校 第九合唱愛好会生徒
- 膳所高校 OB・PTA有志
- 膳所高校 現・旧教職員有志
- 合唱指導：直村 かほる、福井 浩

参加者

| | |
|-------|------------------|
| 在校生 | 1,313名(合唱隊 335名) |
| 来賓 | 154名 |
| (旧職員) | 82名(合唱隊 1名) |
| PTA関係 | 256名(合唱隊 2名) |
| 同窓会関係 | 140名(合唱隊 9名) |
| 現職員 | 84名(合唱隊 4名) |
| 計 | 1,947名(計 351名) |

同窓会式典(祝宴) 15時30分～18時30分

於：大津プリンスホテル「コンベンションホール淡海」
受付時に茶道班OG有志が「呈茶席」を開設
式次第 司会：堀井 哲朗(昭44年膳所高第17回卒)

- ・開会挨拶 (同窓会副会長) 宇野 敏一
- ・歴代校歌演奏 吹奏楽班・OB
- ・同窓会長挨拶 宇野 勝
- ・来賓祝辞 国会議員代表
- 衆議院議員 川端 達夫
- 滋賀県議会議員代表 白倉 一路
- 大津市議会議長 細川 源太郎
- ・来賓紹介・祝電披露 司会者
- ・記念事業報告 (同窓会副会長) 岡角 憲次
- ・学校長謝辞 浅田 幸作
- ・乾杯 (元学校長) 松山 義夫
- ・歌とトーク：三條正人&香山美子
- ・各回卒業生による近況報告
- ・手締め (同窓会名譽会長) 岩崎 栄三
- ・閉会挨拶 (同窓会副会長) 阪田 順

参加者

| | |
|-------|--------------|
| 来賓 | 98名(旧職員 64名) |
| PTA関係 | 19名 |
| 同窓会関係 | 500名 |
| 現職員 | 53名 |
| 計 | 670名 |

(ほかに会費振込み済不参加者 20名)

百年史記録部会

部会長 上野 滋子

平成7年6月14日の第1回部会から数えること71回、足掛け4年の長い長い編集作業を終え、全600頁を超える「百年史」の完成品を手にした時、感無量で目頭に温いものを覚えました。顧みずと構想・企画の段階を終え、平成8年2月12日の歴代校長座談会を皮切りに資料・原稿の本格的収集を開始したものの思うに任せず、やたらに月日が経過、一時は400頁さえ危ぶまれ



る状況にありました。勢い編集方針も二転三転、次第に焦燥の念が強まった平成10年4月以降一氣に入稿が加速、執筆をお願いしていた先生方の追加原稿や資料入稿が8月に入っても止まらず、一転して原稿の割愛整理や追加予算処置に奔走しつつ、片方では連日の校正作業、部会員が自宅に持ち帰って作業を続けるなどバニツク状況の終盤3ヵ月。今はただただ安堵の念で一杯です。

十数通に及ぶお手紙や代金振込票の通信欄に数多くお書きいただいたねぎらいの言葉を読む毎に、「幸せ」を感じています。お世話になった先生方、座談会に出席いただいた皆様方、ご執筆いただいた方々、ご指導いただいた羽野・前田両先生、とりわけ教育史の7割近くをご執筆いただいた編集長の谷澤先生、それに委員の皆様から御礼申しあげます。

なお、「百年史」は引き続き好評販売中です。ご入用の方は事務局までお申込みください。一冊5,000円(税・送料込)です。

組織名簿部会

副部会長 今市 信夫

組織名簿部会では、卒業された皆様が職場別、地域別、部活のOB会別等々、どんな組織の中で同窓会活動をされているかを、調査しようと試みましたが、思う様に資料が集まらず纏める事が出来ませんでした。名簿部会については、皆様のご協力を得て、精度の高い、しかも低額な会員名簿が出来上がったものと自負しています。予約を含め6,103冊を販売させていただきました。別に予備として100冊をご用意していますのでご入用の方は同窓会事務局までお申込み下さい。会員名簿は住所、勤め先、電話番号等を正確に掲載する事が一番だと考えています。若し、会員の皆様に、それらの変更がございましたら逐一ご連絡ください。よろしくお願いいたします。

卒業年別 平成10年度 募金納入状況

卒業年 件数 金額

| 卒業年 | 件数 | 金額 |
|-----------|------|------------|
| 旧職員 | 203名 | 4,095,000円 |
| 大正9年(膳中) | 2名 | 110,000円 |
| 大正10年(膳中) | 3名 | 70,000円 |
| 大正11年(膳中) | 2名 | 100,000円 |
| 大正12年(膳中) | 1名 | 50,000円 |
| 大正13年(膳中) | 1名 | 10,000円 |
| 大正14年(膳中) | 8名 | 330,000円 |
| 大正15年(膳中) | 4名 | 40,000円 |
| 昭和2年(膳中) | 1名 | 10,000円 |
| 昭和3年(膳中) | 5名 | 140,000円 |
| 昭和4年(膳中) | 8名 | 265,000円 |
| 昭和5年(膳中) | 6名 | 145,000円 |
| 昭和6年(膳中) | 18名 | 1,165,000円 |
| 昭和7年(膳中) | 19名 | 357,000円 |
| 昭和8年(膳中) | 23名 | 530,000円 |
| 昭和9年(膳中) | 17名 | 240,000円 |
| 昭和10年(膳中) | 24名 | 515,000円 |
| 昭和11年(膳中) | 18名 | 515,000円 |
| 昭和12年(膳中) | 28名 | 2,815,000円 |
| 昭和13年(膳中) | 18名 | 445,000円 |
| 昭和14年(膳中) | 43名 | 1,225,000円 |
| 昭和15年(膳中) | 36名 | 590,000円 |
| 昭和16年(膳中) | 49名 | 785,000円 |
| 昭和17年(膳中) | 40名 | 605,000円 |
| 昭和18年(膳中) | 60名 | 2,975,000円 |
| 昭和19年(膳中) | 55名 | 950,000円 |
| 昭和20年(膳中) | 10名 | 235,000円 |
| 昭和21年(膳中) | 134名 | 3,120,000円 |
| 昭和22年(膳中) | 86名 | 1,635,000円 |
| 昭和23年(膳中) | 44名 | 970,000円 |
| 昭和24年(膳中) | 12名 | 335,000円 |
| 昭和24年(膳中) | 48名 | 793,000円 |
| 昭和24年(膳中) | 21名 | 455,000円 |
| 昭和25年(膳中) | 208名 | 3,572,000円 |
| 昭和26年(膳中) | 50名 | 500,000円 |
| 昭和27年(膳中) | 277名 | 3,681,000円 |
| 昭和28年(膳中) | 255名 | 3,338,000円 |
| 昭和29年(膳中) | 199名 | 2,956,000円 |
| 昭和30年(膳中) | 132名 | 2,995,000円 |
| 昭和31年(膳中) | 182名 | 2,715,000円 |
| 昭和32年(膳中) | 161名 | 2,375,000円 |
| 昭和33年(膳中) | 171名 | 2,826,378円 |
| 昭和34年(膳中) | 162名 | 2,868,000円 |

募金推進部

募金推進部会

部会長 岡角 憲次

皆様の心暖まるご支援のお陰で、この3月14日現在、95,227,028円の募金を集める事が出来、目標一億円に後500万円弱と言う所まで到達致しました。衷心より厚くお礼申し上げます。別項に卒業年度別の実績表が掲載されていますが、募金額でのトップは昭和26年度卒の皆様です。会員数に対する募金者率では昭和25年卒が66%と断突であります。

「何時まで募金しているのや」と声を高める方もおいでですが、ここまで来たのだから満額達成しようと励まして下さる方もおられます。特に、昭和41年卒以降の皆様にもう一踏ん張りをお願いしたいと考えています。再度に亘る要請で恐縮ですが、何分のご協力をお願い申しあげます。次第でございます。

環境・施設整備部会

部会長 阪田 順

創立百周年記念事業実行委員会が組織されて以来、募金推進部会との合同部会を含み、十数回に亘る部会を開催。最終的に第2グラウンド内の施設整備拡充に焦点を絞り、

- 1 「トレーニングハウス建設」と「トレーニング機器整備」を記念事業とすること。
- 2 その予算は、建設費5,500万円、機器整備費500万円、合計6,000万円とすること。
- 3 業者選定方法等については公正を期すべく、特別委員会(略称「建設委員会」)を設置してその業務に当たること。

役員会に提案、その承認を得て、当部会は一応発展的に解消し、その使命を終えました。部会員各位の温かいご協力と、同窓会会員諸姉兄の深いご理解に衷心よりお礼申しあげます。

広報部会

部会長 松平 智康

百周年のキャッチフレーズとキャラクターの募

集に始まり、公募したキャッチフレーズの中より「遵義の桜、咲いて百年」の選定を行いました。キャラクターには相応しいものがなく断念いたしました。PRの為此のキャッチフレーズをもとに、ポスター、銀行カウンターでのPR方法、エコーはがき等検討致しましたが、その効果、費用、可能性で全て見送る結果となり、発送物の封筒、JUNGI DOの掲載と、校内の屋上看板、入口の垂れ幕、三角ボードでの掲示を行い、百周年へ向けての気運の盛り上げを計りました。この掲示も入学式までとし、取り外す事になっております。ご協力の皆様、広報部会の諸氏に感謝しつつ報告と致します。

百周年記念事業建設委員会

(略称 建設委員会)

委員長 宇野 勝

記念事業の遂行については、業者の募集方法・選定方法・事業の実施等に関し、特に公正を期すべく、構成員13名による略称「建設委員会」が設置されました。

現在実施作業が進捗中です。その工程の概略は次の通りです。

- 3月 設計コンペ実施
- 4月 設計者決定、実施設計
- 5月 入札実施、施工業者決定
- 5月 工事着工
- 5月～9月 工事施工
- 9月末 建物竣工
- 10月 トレーニング機器納入業者決定

なお、委員会の構成員については、不正行為をさげ公正を期すため、当面その公表を差し控えてさせていただきます。ご理解下さい。

記念ビデオ販売について

「百周年記念ビデオ」

このビデオは、同窓会総務部の制作で「記念式典」・「同窓会式典」の概要、「学校風景」等を収めています。(なお、「第九合唱」は収録されていません。)

代金2000円(送料込み)を添えて、同窓会事務局までお申し出ください。後日送付します。お申込みは、氏名・住所・卒業年度・電話番号をご記入の上お願いします。
 膳所高等学校の住所は、「〒520-0081 大津市膳所2丁目11-1」です。

(なお、KBS放映の「湖国に響く百年の第九」のビデオの販売は完了いたしましたので、念のため申し添えます。)

百周年記念事業実行委員会 事務局便り

百周年記念事業の記念式典等は終了したものの、まだ第2グラウンド及びトレーニングハウスの建設という重大事業を残しております。(第2グラウンドは県の事業)こちらで中間報告として、今まで事務局としてやってきたことを若干振り返ってみたい。

事務局は縁の下の方持ち。百周年のマスタープラン作りに始まり、会則、組織のたたき台作り。役員会の召集、総会や百周年事業実行委員会の開催等、事務局の女性スタッフの協力を得ながら粛々と遂行して参りました。勿論これには役員各位の絶大なご協力なくしては行はずはなく、役員相互の根回し等、調整機能も發揮せざるを得ません。紆余曲折、試行錯誤を繰り返しながら、何とかここまでこぎつけて参りました。各部会と協力しながら同窓会組織、百周年組織の円滑な運営を心がけたつもりです。中でも金銭の管理、支出には細心の注意を払わざるを得ませんでした。なにより同窓生各位からお預かりした貴重な誠金です。無駄のないよう、かつ有効に支出する事を心がけました。(当たり前のことですが)

あと半年あまりで、百周年事業も完結の予定です。現在の事務局体制になって、まる6年。ひたすら百周年事業の成功を願い、至らぬなりに一生懸命、やってきました。後は画竜点睛。縁の下の方持ちは、今一つラストスパートを必要とされているようです。同窓生各位のさらなるご協力をお願い申し上げます。(新川 均)



| 昭和35年(騰所高) | 昭和36年(騰所高) | 昭和37年(騰所高) | 昭和38年(騰所高) | 昭和39年(騰所高) | 昭和40年(騰所高) | 昭和41年(騰所高) | 昭和42年(騰所高) | 昭和43年(騰所高) | 昭和44年(騰所高) | 昭和45年(騰所高) | 昭和46年(騰所高) | 昭和47年(騰所高) | 昭和48年(騰所高) | 昭和49年(騰所高) | 昭和50年(騰所高) | 昭和51年(騰所高) | 昭和52年(騰所高) | 昭和53年(騰所高) | 昭和54年(騰所高) | 昭和55年(騰所高) | 昭和56年(騰所高) | 昭和57年(騰所高) | 昭和58年(騰所高) | 昭和59年(騰所高) | 昭和60年(騰所高) | 昭和61年(騰所高) | 昭和62年(騰所高) | 昭和63年(騰所高) | 平成元年(騰所高) | 平成2年(騰所高) | 平成3年(騰所高) | 平成4年(騰所高) | 平成5年(騰所高) | 平成6年(騰所高) | 平成7年(騰所高) | 平成8年(騰所高) | 平成9年(騰所高) | 平成10年(騰所高) | 現職員 | 企業 | グループ | 通信制石鹿会 | 納入者総数 | 総額 | |
|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------|-----|-----|------|--------|-------|--------|-------------|
| 191名 | 168名 | 135名 | 166名 | 130名 | 141名 | 84名 | 99名 | 122名 | 76名 | 81名 | 67名 | 61名 | 67名 | 47名 | 37名 | 25名 | 20名 | 30名 | 34名 | 33名 | 25名 | 33名 | 33名 | 18名 | 19名 | 24名 | 14名 | 21名 | 29名 | 22名 | 36名 | 21名 | 33名 | 25名 | 27名 | 27名 | 27名 | 39名 | 27名 | 82名 | 38社 | 10 | 1 | 5,395名 | 95,227,028円 |

(平成11年3月14日現在)
 ※本校卒業生である旧職員・現職員については、集計上重複して掲載しています。(121件 289万円)
 ご協力ありがとうございました。今後ともご理解とご協力をよろしくお願い致します。

募金推進部会

百周年協奏曲を奏で終えて



「生徒第九合唱」の

誕生事情と経過概要

百周年記念事業校内企画委員会委員長

羽野 正孝

「平成10年11月7日」は、膳所高校の「百周年協奏曲」が完成し鳴り響いた日であり、参加者全員が深い感動に包まれた日だった。すでに、「14号」で両式典のハイライトが報じられているが、ここでは、当日に鳴り響いた「協奏曲」が、また新しい世紀に鳴り響くことを祈りながら、第九成功までの主要日程を追い、その経過概要を記録にとどめたい。

1 オークストラ鑑賞に決定するまで（式典内容案・会場案の変遷）

平成5年度～7年度
百周年記念事業の取り組みは、平成5年5月の同窓会総会での発議以後、多くの会議を経て、7年2月4日の「百周年記念事業実行委員会設立総会」で事業の予定案が決定された。

「記念行事式典部会」の第一回合会は、6年12月14日に持たれ、この時の原案が、「設立総会」に出されている。式典の日は、平成10年11月第1土曜日「7日」、「式典」会場は、学校（体育館）となっており、「記念講演」が考えられていた。

しかし、7年4月28日の第一回校内企画委員会では、「会場」、「内容」、時間設定等の問題を話題にし、会場を学校にした場合のメリット・デメリット、「講演」実施の場合の満足・不満足等を検討し、会場として「びわ湖ホール」案が出てきた。

7年7月7日、校友課で茨木高校を訪問したが、これは大きな意味を持っていた。同校の百周年記念式典内容の一つに「音楽選択生を中心としたカルミナ・プラーナの合唱」という企画があり、心ひかれた。「第九」企画の遠因の一つであるかもしれない。

7年8月28日の記念行事式典部会で大きな変更になった。この時、「記念式典の基本方針（3点）」を新設し、びわ湖ホールを会場候補に挙げた。この基本方針に則り、さらに、「記念式典をより有意義なものにするために、生徒の主体的活動を加えていきたい」と考えた。その思いの中で「第九合唱」が誕生してきたのである。

7年10月26日の記念行事式典部会で、「記念講演」から「記念公演」に変更された。これは、希望会場の「びわ湖ホール」に合う催し物と考えたのである。そして、内容未確定ながら記念公演費用200万円を予算項目にあげ、財源としてPTA特別会計（保護者からの拠出）をお願いすることを中心とした予算立てをしている。また、この部会後、びわ湖ホールとの交渉開始としている。しかし、びわ湖ホールも建設途中であったためなかなか話に乗ってもらえなかった。

7年11月4日、当時のPTA会長桐山さん・副会長奥村さんとの話し合いも大きな意味を持っていた。特に奥村副会長さんの大略次のようなお言葉が、強烈に働きかけてきた。「せっかくびわ湖ホールで記念式典をするのなら、それに合う催し物をお願いしたい。生徒が平生接することの出来ない、一生心に残る行事にしてほしい。そのための財政的な裏付けはPTAで検討してみます」として、具体的な例としてオーケストラの公演があがってきたのである。この言葉をもとに、「生徒の心に残る感動的な記念式典にしたい」という方針は固められた。

7年11月24日の記念行事式典部会報告では、記念公演費を100万円増やして300万円にしており、「記念公演」の内容はオーケストラ鑑賞が確定した。

2 京都市交響楽団に決定。会場として「びわ湖ホール」を熱望。

平成8年2月～8年12月
「記念公演」の内容をオーケストラに確定した後、演奏を依頼する楽団の選定に入った。8年2月頃には、N響・京響その他に問い合わせ、模索していた。

8年3月21日にびわ湖ホール準備室から連絡があり、村西先生と初めて訪れた。尋ねに応じて、その時点での記念式典の計画内容を説明した。式典内容については、通常の式典だけではホール利用ができないので、式典の中身として「プラスバンド演奏」や「記念公演」を含んでいくことが良かった。

8年7月10日に京都市交響楽団を予約した。この後も、京響・びわ湖ホールとの折衝を続けた。

8年8月12日の「式典部会のまとめ」には、「記念公演「京都市交響楽団」と初めて明記している。しかし、当時、この公演は、「この年の学校行事」芸術鑑賞」をこの式典と「一本化する」という考え方、つまり、「芸術鑑賞」であり、受身的な享受であった。

8年12月14日のびわ湖ホール開設準備室訪問では、それまでに比べて前向きに考えてもらえる感触を得た。音楽鑑賞（芸術鑑賞）を重視した催しである点を評価してもらえた。しかし、予約は1年前しか出来ないということなので不安は残ったが、かなり前進した。

3 「生徒第九合唱」に決定するまで

平成9年1月～9年6月
その後、「第九」に決定した日時の明確な記録がない。だが、演奏楽団の決定、会場問題の前進により演奏曲目を選定していくうちに、百周年を祝う歌として、百周年式典にふさわしい曲として、「第九」が浮上ってきた。特に「歓喜の歌」という題名を持つこと、また、多くの人が知っている親しみがあることを考えたと思う。

9年2月14日付け式典部会のまとめ文書に、「第九」に関しての最初の表記がある。「※ベートーヴェン交響曲第九番「歓喜の歌」…在校生から希望者を募って参加させる。」また、「外部の合唱隊・ソロ歌手？」と

もあり、「第九」を取り上げていることがわかる。

したがって、この頃に、鑑賞曲としての「第九」決定と、さらに、「生徒希望者を第九合唱に参加させる」ことを決めたことが分かる。しかし、この当時はまだ、「第九合唱」は外部の合唱隊で実施する計画であり、その合唱隊に生徒の希望者が加わる形を考えていたのである。また、合唱隊の候補を考えた時、ソリストの候補を考えたりした。ソリストについては、内部の人あるいは、本校ゆかりの音楽家・近隣におられる声楽家でボランティア的に来てくれそうな人などをリストアップした。

その後、直村先生が音楽授業でやってもらわれて生徒合唱ができそうな感触を持たれたので、その方向で検討した。前述した茨木高校の生徒合唱の企画を聞いていたことも大きな要因となっている。

9年4月17日、村西先生と京都市交響楽団に出かけた。その折に、第九企画に関しての問題点を指摘された。そのうち、「ソリストはプロを頼まない」と無理である」という指摘が決定的で、これは費用がかかってもどうしても対応しなければならぬことである。4月24日には、指揮者・ソリストの選定を一任するなどで折り合った。

9年5月2日付けの式典部会のまとめ文書には、「外部の合唱隊」という表示が消えており、この時点で「希望生徒による合唱」に計画が変わっていることがわかる。外部の合唱隊の選定依頼が難しいこと、もしも生徒で出来るならその方が式典がより生徒のものになる、などと考えたのであろう。苦難の始まりかもしれないが、終わってしまったらこの時の選定が感動的な式典の始まりなのである。

9年5月26日の職員会議で、「第九を実施すること」、「そのためにいろいろ迷惑をかけるが協力を得たいこと（特に来年度2学期のLHR使用許可など）」、「今後、京響・びわ湖ホールと交渉して案を立てて示すこと」を説明し、了解を得た。

4 音楽授業での合唱練習の開始

平成9年7月～9年12月
9年7月31日に指揮者山下一史氏が決定。9年9月8日にはソリスト4名が決定。いよいよ第九合唱の練習にからねばならなくなった。9年10月から直村先生が音楽授業で取り組みを開始された。

9年10月6日付け「式典部会のまとめ」も変化を見せ、「ベートーヴェン交響曲第九番「歓喜の歌」…（ソリスト4名のお名前を記入）、合唱…1・2年音楽選択生約250名」となっており、音楽選択生による「第九合唱」がはつきりとしてきた。なお、これ以後の音楽担当の直村先生のご努力は大変なものだった。改めてそのご苦労に感謝の意を表したい。

9年12月17日、びわ湖ホール使用許可内定を頂き、会場がやっと確定した。

次号に続く

同窓生投稿欄

募金額・第1位が大高2回 (昭和26年卒業)に感涙

大高2回 宇野 昌明

私達は昭和20年4月膳所中学に入学した。疎開で生徒数が増え、当初の6組はすぐ8組となり、その夏終戦。米軍占領下、物不足で不自由な自由主義。停電が続き、ホヤ付きランプでの試験勉強。4ツ切り紙の教科書を切り揃えて使い、合同授業は当たり前。リレー選手がバタバタ倒れる運動会。床は木の節で凸凹、板が窓ガラス代りの無惨な教室……。身も心も寒風の吹く時代だった。学校・勉強は程々に昭和26年私達は卒業した、同年9月に日本は漸く占領から解放された。

その私達が百周年募金第1位。学生時代に不遇だった人程母校を思ふのか、と感涙が止まらない。「昭和1桁」物故者も多くなつた昨今だが、皆さんの余生に幸多かれと切に願っている。 合掌

膳所高校創立百周年記念 を祝う

石鹿剣友会会長 清水仙太郎

百年史でも申しあげた通り、平成4年発足した石鹿剣友会は今年で7回を数え、その間膳所高校剣道部OB会と合体し、世代を超えて剣友交流の輪を拡げ日本特有の文化である剣道の普及に資しかつ現在母校で剣の道に励んでいる部員に対する精神的な支援となることを願ひ、学校当局の剣道に対する理解と関心を示してもらふことを期待し、この百周年記念の意義ある日に之を祝う宴の輪に加えてもらつて剣友の交流と県立武道館に於いて老・若剣友が交歓稽古を行い大いに氣勢をあげたのである。どうか若い世代の剣友がその輪を更に拡げこの会を盛り上げてもらいたいと願ひして己まない。今回の石鹿剣友会開催については同窓会事務局に大変お世話になり紙上にて厚く御礼を申し上げます。



膳所高校創立百周年記念 に作品を寄贈

膳所高41年有志一同



膳所高41年卒有志では、自分たちの百周年をどう考え、国内外で活躍中の同窓生安土修三君の作品を母校に寄贈しようと、安土君の協力と有志の力添えで、12月25日に実現しました。作品は「De-time」というタイトル。一見時計のような作品で、是非、学校の壁に掛けて、ご覧いただきたいと思っています。作品は常にメッセージを持っています。「我々は月を一瞬のうちに見る」この作品を通して、興味ある多くのコミュニケーションが深まることを願っています。

「百年史」を手にして

朝夕は、初冬のけはいになって来たな、と思ううち、突然に冬そのものの冷え込みになって、今年の冬は厳冬になるという予報が、的中したような感じがいたします。

「百年史」、二十日に拝受いたしました。ありがとうございます。ページを繰りながら、万感交々の思いで、現職の時の思い出に浸っております。完成までのご苦心、なみなみならぬものがあつたと拝察いたします。たとえば、年度ごとの校内の人事、学年の担当などを、克明にまとめて下さったことなど、職を奉じたわれわれには、その当時のことが鮮やかに思い起こされ、地味なご労力を注ぎ込んでいただいただけに、言葉にあらわせぬ重みを感じます。本当にありがとうございます。

皆様のお気疲れ、さぞかし大変だったことと存じます。厳冬に向かいます折から、どうか諸先生方、くれぐれもご自愛の上、一層ご活躍下さいませよう、切にお祈り申し上げます。

9、11代校長 松山 義夫
大9膳中 小島 信三

※この他にも数通のお礼状が届いており、また、振込用紙にも労らいの言葉を多数お寄せいただいたいております。

滋賀県立膳所高等学校同窓会 平成11年度年会費納入のお願い

ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

同窓会会員の皆様には、同窓会活動にお力添えをいただきまして誠にありがとうございます。平成11年度年会費納入用の振替用紙を同封いたしましたので、よろしくご協力のほどお願いいたします。なお、住所等に変更がある方は振替用紙の訂正欄にご記入をお願いいたします。

| | |
|----------------------------------------------------------------------|-----------------------|
| 記 | |
| 〔会費額〕 | 年会費 3,000円 |
| | 5年会費 15,000円 |
| | 10年会費 30,000円 |
| いずれかの会費を選択のうえ納入していただきますが、誠に恐縮ではございますが、できる限り、5年または10年会費の納入をお願い申し上げます。 | |
| 新卒の同窓生は、卒業後4年間は卒業時に納入する入会金3,000円のみとします。 | |
| 〔納入機関〕(振替用紙は共通です。) | |
| 郵便局 | 01010-3-30378 |
| 銀行 | 滋賀銀行 本店(110)普 913381 |
| | びわこ銀行 本店(111)普 335940 |

いずれも名義は、滋賀県立膳所高等学校同窓会会長 宇野 勝 です。
※同窓会からの領収書は発行していませんのでご了承ください。
※同窓会年会費と百周年募金用の振込用紙をお間違えないようご注意ください。

膳所高卒業生寄贈図書 「石鹿文庫」

著者名 書名・巻次(版次)

| | |
|---------|---------------------------------------------------------------------|
| 北脇 洋子 | 現代の絵画 VOL.4 日本史のなかの世界史 |
| 久禮 稔 | 歴史教科書の空白を衝く！ どんぐりの猛語録 |
| 膳所高校図書編 | 百年史 進義の桜、咲いて100年 和漢蔵書目録 |
| 膳所高校編 | 膳所高校「百年史」別冊 |
| 須田 武志 | 創立百周年記念式典 写真集 インターハイに20回出場して |
| 七尾 清彦 | ひとりひとりのルネッサンス 公立高校普通科男女共学で |
| 八幡 和郎 | 日本再生への緊急提言！ 47都道府県らんちく事典 興の由来からお国自慢まで |
| 安土 修三 | さらば！龍が関 シュウソウ・アツチ・ガリバー 「野心ノ場登り」アールヌーヴェー 「歴史の座」でのプロジェクト1996 |
| 吉田樹美子他 | 米騒動の研究 全五巻 |

卒業生文庫「石鹿文庫」へご寄贈を。
同窓生の著書を集めた「石鹿文庫」も皆様のご寄贈で充実してまいりましたが、さらなる充実をめざしてご協力をお願いします。

平成11年度同窓会事業計画案（概要）

平成11年3月27日(土)県教育会館において同窓会理事
会が開催され、以下の各部会の事業計画・予算案事
項が平成11年度総会案として承認されました。

1 総務部会

- ・年次総会の準備、開催（年2回程度）
- ・理事会の準備、開催（年2回程度）
- ・役員会の開催（月1回程度）
- ・総務部会の開催（月1回程度）

2 財務部会

昨年は百周年募金があったため、会費納入率が低
下した。会費納入率向上を図るため、対策会議を
月に1度開く予定である。

3 事業部会

「総会」の開催、ゴルフ大会の開催を通して同窓
会活動を盛り上げ、活性化を図る。

4 広報部会

「JUNGIDO」の年2回発行（15号4月発行、
16号10月発行）

5 組織部会

組織の充実、各種名簿の整備及び支部の運営に関
わる諸業務に努力したい。

平成11年度予算（案）

一般会計

《収入の部》

| 項目 | 金額 | 備考 |
|----------|------------|----------------|
| 前年度繰越金 | 8,188,522 | 百周年会計よりの返済金を含む |
| 特別会計より振替 | 5,560,030 | |
| 平成11年度会費 | 3,000,000 | |
| 前受会費 | 6,054,000 | |
| 同窓会入会金 | 1,300,000 | |
| 雑収入 | 50,000 | |
| 合計 | 24,152,552 | |

《支出の部》

| 項目 | 金額 | 備考 |
|------------|------------|-----|
| 総会費 | 1,200,000 | |
| 会議費 | 300,000 | |
| 交際費 | 100,000 | |
| 通信費 | 300,000 | |
| 光熱費 | 150,000 | |
| 旅費交通費 | 200,000 | |
| 支払手数料 | 100,000 | |
| 雑給与 | 3,000,000 | |
| コンピューター関係費 | 300,000 | |
| 事務用品費 | 300,000 | |
| 備品・消耗品費 | 100,000 | |
| 広報発行費 | 2,500,000 | 2回分 |
| 広報発送費 | 5,000,000 | 2回分 |
| 特別費 | 500,000 | |
| 慶弔費 | 100,000 | |
| 班活動奨励金 | 500,000 | |
| 広報部部会費 | 400,000 | |
| 組織部部会費 | 300,000 | |
| 事業部部会費 | 500,000 | |
| 財務部部会費 | 500,000 | |
| 総務部部会費 | 200,000 | |
| 予備費 | 7,602,552 | |
| 合計 | 24,152,552 | |

周年記念同窓会



昭和51年卒

昭和51年卒業生による初の同窓会が昨年11月22日
（旧）に浜大津の「琵琶湖ホテル」の2階「ローズの間」
にて山本良三先生、八木敏雄先生、羽野正孝先生、
小柳順吾先生、大江四郎先生、西池季節先生、井上
太刀夫先生のご出席を賜り、男子卒業生65名、女子
卒業生47名の総勢119名の出席により開催されま
した。

宴が始まる前の2階ロビーは懐かしい先生方や同
級生たちの賑やかな語らいの場となり、すでに幕は
開けられていました。

二十数年ぶりに会うことがなかった我々同級生に
とって、許された時間は十分ではありませんでした
が、次回開催の代表幹事役の方も岡田隆彦君にお願
いすることが決まり、第1回目の開催としての役割
は少なからず果たせたものと思います。半年近く何
かご支援ご協力下さいました皆様には心からお礼
申しあげます。ありがとうございました。

（猪飼 一功）

20周年記念同窓会 （昭和53年卒業）

例年より遅かった梅雨明
けの翌日、晴天の平成10年
8月1日、卒業10周年以来
の懐かしい顔が京都ホテル
グランヴィア京都に集まり
ました。当時の松山校長先
生をはじめ13名の恩師をお
迎えして、約100名の同
窓生が参加し、盛大に行わ
れました。

物故者に黙祷を捧げ、松
山校長先生と現在膳所高で
教頭をされている澤先生に



「祝辞を頂きました。この時ばかりは、40に手が届
きそうな同窓生も当時を思い出して懐かしく背筋を
伸ばして聞き入っていました。その後、乾杯の後に
なるお持ち帰りは、あの当時に一気に逆戻りし、ニッ
クネームでお互いを呼び合いながら楽しい一時を過
ごしました。その後、5年後の同窓会での再会を誓
いながらお開きとなりました。

遠方で参加できなかった関東地区の同窓生で、11
月14日宮坂（瀬口）先生を迎えて、東京で同窓会を
開催しました。参加者は18名でしたが、アットホー
ムな楽しい時間を過ごしました。この同窓会のこと
は、鈴木琢磨君の筆で毎日新聞夕刊の記事になりま
した。

（同窓会の写真等は [HTTP://www.ado-jp.com](http://www.ado-jp.com)
に掲載しています）

（吉田 稔）

25周年記念同窓会（膳所高21回）

「相和し、相同
ず。同窓生とは好
いものだ。同窓会
とは良いものだ。」
の合言葉の下に、
第21回卒業生50名
が母校百周年記念
同窓会へ参加いた
しました。今回は
私達の25周年も兼
ねており、立岡功
成君と竹内綾子さ
んのご尽力により、
百周年同窓会に参
加されている各年
次中で最大人数で
の参加を誇りまし
た。恩師の皆様も
たくさんお見えに
なっており、いつ
もの同窓会とは一
味違った、感慨深
い一時を過ごすこ
とができました。また、宴の中で我学年の誇りでも
ある野球部の活躍（夏の甲子園初出場）が紹介され
盛大な拍手を頂くなど少々鼻の高い気分も味わうこ
とができました。宴会部長の高田満君が上機嫌で曰
く、「膳所高等学校は永遠に不滅です。」正に「同窓
会とは良いものだ。」を実感。

母校百周年に居合わせた幸運を分かち合い、五年
後の30周年同窓会での再会を誓い合い帰路につきま
した。

（富波 義明）



30周年記念同窓会(膳所高16回)

「君誰やっつたか」「あなたひよつとして」「ウワーツなつかしいわあ。×××さんとちやうか？」30年の時空を飛び越えて高校時代の愛称が飛び交う。1999年1月2日、浜大津湖畔、琵琶湖ホテル。今まで全く同級会をしなかったわけではない。4年に1度、学年全体の同級会はあったものの、電話等で動員していたわけでもなかった。せいぜい100人程度しか集まらなかった。

今年も、栄えある(?)30周年。少なくとも200人くらいは集まってほしい、との幹事団の切なる願い。昨秋から何回も集まり、クラス別、クラブ別、等に別れて電話作戦。その甲斐あって全国から馳せ参じた級友210名余。それに恩師13名を加えると、220名を超える大パーティとなった。

全恩師を真ん中に各クラスごとに記念撮影。乾杯もそこそこに、あちこちで話の花が咲く。中には30年ぶりに出会う級友も、その変化に吃驚仰天。美少女時代の面影を残す人もいれば、これがあの紅顔の美少年の?と思わず名前を確認する人ありで、30星霜の時の流れをひしひしと感じさせる。

話の中心は何といつても、高校時代の思い出。「あのとき実は...」式の初恋談義や失敗談、友人達の消息。話はとめどなく尽きない。あつという間に予定の2時間は過ぎ、延長。それでも話は尽きず、せつかくのごちそうも随分残されていた。その後、そのまま帰った人はごく少数ではなかったか?琵琶湖ホテルの隣のカラオケボックスの2次会には90人近く残り、(三々五々、個々に行った人は別にしても)果ては3次会4次会まで流れて青春時代を懐かしんだ。

尚、膳所高16回(昭和43年)卒のパーティ精算の残余金25万2千円を、母校の百周年事業に寄附させて頂いた。後日会計が同窓会長までお届けした。幹事会で決定したことになった。同級生の諸氏にはこの場でご報告することになった。事後承諾になってしまったことをお詫び申しあげたい。

又、4年に1度の全学年、10年に1度の大々的な全学年のクラス会も確認された。更に、当学年では、毎年関東(5月)及び関西(8月)で女性・諸師を交えて、ゴルフ大会を開催している。参加希望者は勝見博君まで。

(077-57810019) 自宅電話
※アフターゴルフだけの人も大歓迎。*

30周年記念同窓会(昭和44年卒業)

卒業後初めての同窓会を、本年1月2日琵琶湖ホテルにて、恩師7名、同窓生160名余が集い盛大に開催することができました。乾杯までは、予定通りの進行でしたが、懇親タイムに入ると、30年前にタイムスリップしてしまつたかのような会話が弾み、

あまりの盛り上がりには気がつけばお開きの時間が迫っており、あわててビンゴゲームを行いました。「次回開催を!」という声に押されて、5年後開催を宣言しようやくお開きになりました。

2次会のカラオケにも100名を超える参加があり、さらに3次会、4次会へと夜遅くまで旧交を温めることができました。なお、当日の出席者のクラスごとの記念写真と、最新の住所録をセットにした冊子を作成しています。4月中には、お届けできると思しますので、お楽しみに!

(竺 正人)

膳六会 40周年記念同窓会

(昭和33年卒業)

平成10年8月15日(日)正午から、幾多の思い出のある、また閉館間近の柳ヶ崎の琵琶湖ホテルの「淡海の間」で、南先生を始め岡田・松山・村田・山本の各先生方を迎え、還暦を目前に控えた同級生129人が集い、同窓会を開催。記念写真撮影後、後輩の堀井哲朗アナウンサーの司会で開会。校歌斉唱、亡き恩師・同級生24名の冥福を祈り黙祷。坂口生徒会長の挨拶。現膳所高校長である同級生の浅田幸作君から百周年記念事業など母校の現況報告。続いて恩師各先生方から思い出や教訓をちりばめたお話など、40年をフープして教室に座っているような雰囲気でした。余興のゲームでは一同童心?に返り大騒ぎ。最後に道遠歌・琵琶湖周航の歌を斉唱し5年後の再会を約し16時閉幕。2次会は全員参加、3次会も定員オーバー。まさに盛り上がりだった一日でした。

(伊藤 欣士)

東一回 45周年記念同窓会

(昭和28年卒業)

我々の卒業45周年と「遵義の桜、咲いて100年」母校創立百周年が重なり、記念同窓会は、百周年記



念式典の祝宴と相乗り開催となった。

当日参加者は90人をやや下回ったものの東一の9テーブルは大変な賑わいに終始した。そして膳所高校旗をバックに、松山先生を囲み記念の集合写真撮影も無事終了。その後、東一の同窓生のみを集まり(二次会)を場所を移して再集合。76名の思い思いのスピーチに大いに盛り上がり、年令を忘れ、時の過ぎるのを忘れての楽しい会であった。次回50周年(平成15年)の同窓会各組幹事も決定。午後9時30分過ぎ、一同琵琶湖周航の歌の大合唱とともに再会を誓いつつお開きとなった。

(渡辺 文夫)



昭和37年卒業(膳所高10回)のみなさんへ

- 親睦会「ゼゼ・モーゼの会」が発足しました。ぜひ、ご入会ください。
- 目的/年1回の総会とその他行事を開催し、膳所高10回卒業生のより深い親睦をはかる。
- 発足/平成11年1月23日
- 年会費/年会費1万円
- 年度/1月1日~12月31日
- 会費振込先/びわこ銀行石部支店・普通412893
- 入会手続き/会費の振込みによる。
- お問合わせ/鈴木 勝博

〒52013101
TEL 0744817712139
FAX 0744817713844

5月9日(日)同窓会総会で同級生の七尾清彦君が記念講演をします。ぜひ多数のご出席をお願いします。また、当日受付にて七尾清彦君の著書「ひとりひとりのルネッサンス」の販売も行います。

周年記念同窓会 予告

25周年記念同窓会

昭和49年卒業(膳所高校第22回)
期日 平成11年8月14日(土)
会場 琵琶湖ホテル(浜大津)
(5月頃に案内状を送付予定)
世話人 伏木 雅人
連絡先 077-5444-5245

二六会 昭和26年卒業(大高第2回)

平成11年11月3日(祝) 11時
会場 琵琶湖ホテル(浜大津)
詳細は追って連絡します。
是非、多数のご出席を!!
幹事 浜大津地区
代表 岩波 日出男

50周年記念同窓会 真珠会

昭和24年卒業(旧大津)
日時 平成11年6月1日(火)~2日(水) 正午
会場 ホテルプラザ神戸
(TEL 078184615400)
〒65810032
神戸市東灘区向洋町中2-9-11
(六甲アイランドKPP内)
JR住吉から六甲ライナー約8分
センター駅下車
〒52010027
大津市錦織1-11-25
佐田 葉子
(077152210025)

ななしの会

昭和25年卒業(大高1回)
平成11年9月28日(火)~29日(水)
「西瀬戸しまなみ海道と道後温泉」
予告のハガキ未着の方:ご希望をTEL下さい。
詳細7月に案内いたします。
幹事 住森 通禮
TEL 077-53710356
TEL 061687210120
住森 通禮





膳所高 NEWS



同窓会入会式開催

2月28日に、同窓会入会式がおこなわれ、男子227名、女子205名、合計432名の新しい同窓会員を迎えた。宇野会長より歓迎と激励の言葉が贈られた。百周年式典で生徒全員がすばらしい第九を歌ったことや、「からだを鍛える」「幅をもった勉強をする」「それぞれの持ち場、立場で無くてはならない人になる」ことを人生の目標に持って欲しいことをにこやかに卒業生に語りかけられた。

入会式後、各クラス同窓会理事が集まり、その中から常任理事が選ばれた。今後も同窓会活動に若い人達のご協力をお願いしたい。

- | | | |
|----|----------|----------|
| 理事 | 1組 松井 美和 | 2組 高橋真由子 |
| | 3組 音光寺三恵 | 4組 山中 齋司 |
| | 5組 宮本 知佳 | 6組 西川 隆徳 |
| | 7組 伏木 大輔 | 8組 塚本 直史 |
| | 9組 村上 靖英 | 10組 山下 航 |
| | 11組 清水 宗 | (以上敬称略) |

常任理事に音光寺さん、山中さん、塚本さん、村上さん、山下さんが選ばれた。

第47回卒業式

3月1日に、本校体育館にて第47回卒業証書授与式が行われ、432名が学舎に別れを告げた。2年生全員、1年生代表、教職員、保護者が出席し、来賓として、宇野同窓会会長、元校長松山先生、同佐野先生、同南池先生、前校長武原先生、中村PTA会長、奥村同副会長、墨谷同副会長、学校歯科医多田先生のご出席のもと、盛大に開催された。

3年生各クラス毎に担任から呼名され卒業証書が代表に授与された。その後、浅田幸作校長は式辞の中で、この3年間の努力を高く評価し、とりわけ昨年びわ湖ホールでの本校創立百周年記念式典における第九合唱をお褒めいただいたの続き、「将来にわたって学ぶ心を持ち、

同窓会入会にあたって

平成11年卒業 村田 幸子



私にとって3年間の高校生活は、長いようでも短く、でもとても充実したものでした。楽しかったことや辛くて悩んだこと、いろいろなことがありますが、今ではどれもよい経験ができたと思います。

私は膳所高校には2年生のときに転入してきました。学校に慣れるまで戸惑うことも多く、生徒会長に立候補するときも不安ですごく勇気が必要でした。しかし、そんな不安な私を支えてくれた友人や先生方がいてくれたおかげで、私は最後まで生徒会長をやり通すことができました。膳所高でいろいろな人に会えたことは、私の一生の宝物となる経験だと思います。そして同窓会に入会するにあたって、同窓会がまたこれから先もたくさんの先輩方と出会えるチャンスを与えてくれれば、私は嬉しいです。

101年目という新しい時代への一歩を踏み出した膳所高と共に、卒業後、私たちはそれぞれの道へ歩き始めることとなります。膳所高で学んだ経験や精神を忘れずに、目前に迫っている二十一世紀を支えていく者としての自覚を持ち、日々努力していきたいと思っています。

まだまだ未熟なところも多いと思いますが、先輩方、これからどうぞよろしくお願い致します。

第47回卒業生 スポットライトを送る

2月28日に、卒業式予行に引き続き、卒業記念品目録贈呈式が行われ、代表の3年2組高橋真由子さんが、浅田幸作校長に目録を渡した。記念品は、スポットライト一對、庭園陶器(ペンギン)一つ、テント(青)一張り、スポーツライスは文化祭などで使用されることとなる。

自らの向上に努める」「夢を持ち続け、創造的に生き続ける」「誠実で豊かな心を持ち、21世紀に活躍する人になる」とを卒業生に求められた。

卒業生たちは、緊張感に満ちた表情で、吹奏楽班による「蛍の光」演奏の中、満場の拍手を浴びながら、会場をあとにした。

サクラサク!

主要大学合格者数

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------|-------|------|-------|-------|--------|------|-------|------|--------|---------|-------|-------|-----|-----|--------|--------|--------|--------|-------|-------|-----|
| (国立大学) | 北海道大 | 筑波大 | 一橋大 | 東京外大 | 金沢大 | 静岡大 | 名古屋工大 | 滋賀大 | 京都大 | 京都工芸繊維大 | 大阪外大 | 奈良女子大 | 岡山山 | 香川大 | (公立大学) | 福島県立医大 | 愛知県立芸大 | 京都市立芸大 | 京都市立大 | 大阪市立大 | |
| | 6名 | 3名 | 1名 | 1名 | 6名 | 3名 | 3名 | 20名 | 32名 | 17名 | 6名 | 2名 | 9名 | 2名 | | 2名 | 2名 | 2名 | 2名 | 2名 | 12名 |
| | 東北大 | 東京大 | 横浜国立大 | 富山医薬大 | 福井医大 | 名古屋大 | 三重大 | 滋賀医大 | 京都教育大 | 大阪大 | 神戸大 | 鳥取大 | 広島大 | 愛媛大 | | 東京都立大 | 滋賀県立大 | 京都府立大 | 大阪府立大 | | |
| | 4名 | 6名 | 1名 | 2名 | 2名 | 2名 | 11名 | 2名 | 7名 | 34名 | 46名 | 2名 | 7名 | 3名 | | 3名 | 5名 | 3名 | 5名 | 17名 | |
| (私立大学) | 慶応大 | 法政大 | 京都外大 | 京都女子大 | 同志社大 | 立命館大 | 大阪薬大 | 関西外大 | 関西学院大 | (大学校) | 防衛大学校 | | | | | | | | | | |
| | 13名 | 3名 | 9名 | 10名 | 77名 | 14名 | 4名 | 6名 | 5名 | 29名 | 2名 | | | | | | | | | | |
| | 東京理科大 | 早稲田大 | 京都産大 | 京都薬大 | 同志社女子大 | 龍谷大 | 関西大 | 近畿大 | 神戸女学院大 | | | | | | | | | | | | |
| | 5名 | 21名 | 16名 | 8名 | 17名 | 38名 | 65名 | 19名 | 2名 | | | | | | | | | | | | |

編集後記

・新たな世紀のはじまりとなる創立百周年記念式典と祝宴を11月7日盛會裡に終え、14号はその日の報告の写真号としてお送りいたしました。その喜びと安堵も束の間、早や15号の発行となりました。百周年に際してご協力下さいました皆様へのお礼の言葉や報告と共に、残る百周年記念行事、第二グラウンドの完成を願う更なる皆様のご協力をお願いする号となりました。

膳所高校や同窓会の発展のため、二百年へ向かって遵義堂の編集に携わる私達も新たな気持ちで微力ながら頑張っておりますが、会報の生命線はひとえに皆様のご支援や情報のご提供にかかっています。更なるご協力を願って止みません。

- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 上野滋子 | (東2) | 谷口啓司 | (膳10) |
| 田中美津代 | (東4) | 佐田葉子 | (旧大) |
| 山田 勲 | (膳11) | 宮崎美恵 | (大3) |
| 高橋好乃 | (東4) | 花坂多恵子 | (膳6) |
| 服部 章 | (膳12) | 岡澤則子 | (膳26) |
| 吉田 稔 | (膳26) | 福井 浩 | (膳29) |
| 谷澤一輝 | (膳32) | | |

